

令和6年度 卒業論文要旨

学 生 氏 名	山 川 翔 真
論 文 タ イ ト ル	銀行再編と貸出関数の推計
要 旨	本論では、銀行の合併と経営統合といったイベントや、財務諸表で示される銀行の経営方針等が、企業への貸出にどのような影響を与えているかを明らかにした。 その結果、銀行合併は、企業への貸出を増加させる効果があった。推計期間中、合併した6行は合併前も合併後も全体的に利益を上げており、中小企業向け貸出額と比率からは、中小企業向け貸出は合併を通じて増加することが分かった。さらに、パネルデータ分析で合併後は、貸出を増加させることが示された。 銀行の経営統合については、イベント前後を比較した際に、中小企業向け貸出を増加させる効果があるように読み取れた。しかし、全銀行のデータを使い、パネルデータ分析を行った結果、経営統合が、企業への貸出を増やすような結果は得られなかった。本稿を通して言えば、銀行合併は、経営統合よりも企業にとって利益のあるものである。